



絵を見て、まちがいを  
10カ所見つけてね。  
正解者のうち、  
抽選で5人の方に  
図書カードを  
プレゼントします。



### 応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり8月号に掲載します。

締切 6月14日(金)

### 4月号当選者

応募総数73通・正解者58人

鈴木 早紀 (西浦町)  
竹内 豊 (三谷町)  
鳥居 波朗 (金平町)  
藤原 とみ (本町)  
牧野 ふみ子(形原町)

(50音順・敬称略)



画:とうふねこ座  
市川雅子

### ねんど遊び

タライに入った70センチくらいのねんどの山が、部屋のあちこちにあります。このねんどは、瀬戸の焼き物用の土。ねんどの山から子どもたちが自分の作りたい分だけ取っていきます。少なくなったら、どれだけでもねんどは足されます。

Aくん「ちょっと硬いけど、こねるぞ!」指に力を入れてコネコネ。熱い手でコネコネ。「うん、ちょうどいいぐらいになった」

Kちゃん「カブトムシ作るもん」コネコネ「う〜んちょっと違う!」コネコネ「うま〜いかなー」コネコネ「もう1回作ろっと」コネコネ「もう1回」

Rちゃん「机の脚作らんと、この前ねんどの棒作ってくっつけたら、乾いたら取れちゃったしなー」

Qくん「Rちゃん、机の方から脚をひねり出したら乾いても取れんよ」

Sくん「水でなでるとツルツルでかっこいいじゃん・できたー♥」

鹿島こども園の子どもたちは、1年通してねんど遊びで自然を体感。年2~3回ほどプロの表現師と遊ぶことで、あと一押しでねんど細工が光り輝くことに気づいてワクワクいっぱい!

### 4月号の答え 竹の子掘り

